

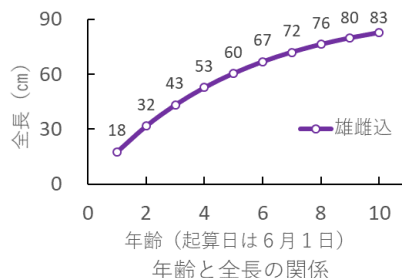
キアンコウ（地方名：あんこう）

1 生態

- ・北海道以南の日本沿岸に広く分布し、福島県沖では主に水深50～200mに生息しています。産卵期に水深30m付近まで接岸します。
- ・成熟全長は、雄が約43cm、雌が約68cmで、産卵期は4月から遅くとも8月と推定されています。
- ・主に魚類やイカ、タコ類を食べます。

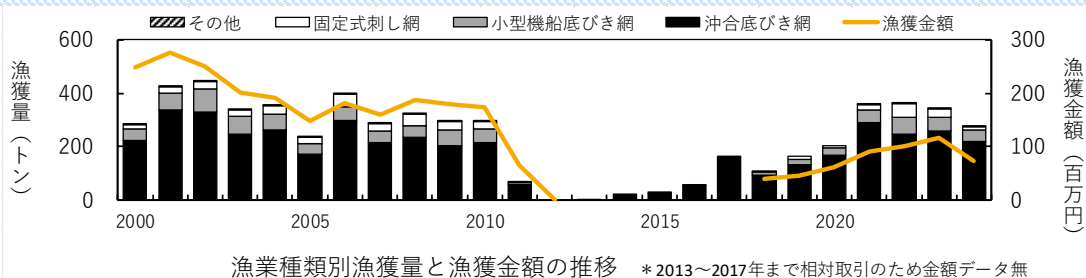


*「令和6（2024）年キアンコウ太平洋北部の資源評価」により右図を作成



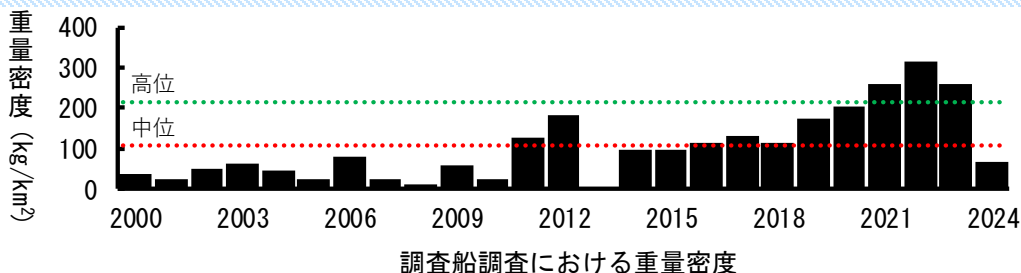
2 漁業に関する情報

- ・底びき網、刺し網で周年漁獲されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は275トン、金額は72百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）9月から再開されています。



3 資源の状態

- ・資源の水準：低位、資源の動向：減少
- ・調査船調査の結果では、震災後、キアンコウの資源は増加し、高い資源水準が維持されてきましたが、直近の2024年の調査では小型の個体が目立ってきており、今後の動向に注意が必要です。



4 資源管理の取組み

- ・国が作成する資源回復計画（～2011年度）に基づき、沖合底びき網漁業及び小型機船底びき網漁業において、保護区（4～6月）が設定され、2012年度以降は資源管理指針・資源管理計画体制の下で同様の管理策が行われています。